

令和7年度「学校における手話及び手話言語条例の普及・啓発事業」の実施報告

1 実施状況 計7校

(小学校)

- ・富山市立堀川南小学校手話クラブ 11名
- ・黒部市立若栗小学校5年生 19名

(中学校)

- ・富山市立榆原中学校全学年 24名

(高等学校)

- ・富山県高等学校文化連盟ボランティア1、2年生 25名
- ・富山県立志貴野高等学校3、4年次 15名
- ・富山県立氷見高等学校 3年生 生活福祉課「課題研究(保育福祉)」選択者 19名
- ・学校法人藤園学園龍谷富山高等学校手話パフォーマンス甲子園出場者2、3年生 15名



2 主な活動内容

- ・聴覚障害についての講義
- ・挨拶や自己紹介等の簡単な手話表現を学ぶ 等



3 活動の様子



4 児童生徒の感想

- ・手話で自己紹介して、それが通じてうれしかったです。もっと手話を使えるようになりたいです。
- ・耳が聞こえないのは、とても不便だと思いました。災害の時などに、耳が聞こえなくて困っている人がいたら、声を掛けたいと思いました。
- ・聴覚障害のある人は、手話だけでなく、表情や口の動きからも相手の言葉を理解していることがわかりました。
- ・手話の意味や由来を知ったら「ああ〜」と納得することが多く、手話の表現はおもしろいと思いました。